



平成26年10月15日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所

お知らせ

志を一つに 安全第一の港づくりを

～「津波避難訓練」(参加者51名)と「工事安全大会」(参加者110名)
を実施しました～

港湾工事における安全に対する「発注者」「受注者」双方の認識を深め、より確実な安全対策・現場管理を進めるために、津波避難訓練・工事安全大会として以下の2つの取り組みを実施しましたので、お知らせします。

1. 大津波を想定した津波避難訓練

名古屋港沖合の高潮防波堤では老朽化や沈下対策としての工事を進めており、この秋からは防波堤を「嵩上」(地震・津波を考慮し天端高を高くする)工事が繁忙期を迎えます。

こうしたもと、工事に従事する作業員の避難体制確立及び避難時間を検証する事を目的として訓練を実施し、津波到達想定時間内に避難場所まで避難出来る事を確認しました。

実施日時：平成26年10月10日(金) 13時00分～14時00分

訓練場所：高潮防波堤等工事現場から指定避難先

(名古屋市国際展示場「ポートメッセなごや」)

2. 工事安全大会

建設業における投資額が引き続き増加基調の一方、技能労働者や現場管理者の不足というもとで、建設業における工事現場では労働災害が発生しています。

港湾工事においても、今年3月に沖の鳥島に於いて重大死亡事故が発生しており、津波避難訓練に続いて「工事安全大会」を開催し、工事事故撲滅・安全意識の向上を確認し合いました。

実施日時：平成26年10月10日(金) 14時00分～16時10分

開催場所：名古屋市国際展示場「ポートメッセなごや」交流センター3F 第3会議室



●配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾
空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

●問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 副所長 神藤（じんどう）

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 保全課

前任建設管理官 伊藤（いとう）

Tel 052-651-6594

Fax 052-651-6287

津波避難訓練を実施しました

名古屋港の国の工事を担当する受注者間で構成される、「名古屋みなと建設工事安全連絡会」では、東日本大震災によって受けた甚大な被害を教訓に、それまでの「地震津波発生時避難要領書」を平成24年1月に改訂し、毎年「津波避難訓練」を実施しています。

名古屋港の沖合の高潮防波堤では老朽化対策や沈下対策としての工事を進めており、この秋からは防波堤を「嵩上」（地震・津波を考慮し天端高を高くする）工事が繁忙期を迎えます。

こうしたもと「突発的な津波が来襲する」という想定で、工事に従事する作業員の避難体制の確立及び避難時間を検証する事を目的に実施し、3社51名が参加しました。

訓練では、工事現場・作業船に「大津波警報発令」の情報伝達が入ると、作業員らは一斉に交通船に乗り換え、避難先まで向かって船を走らせ、名古屋港金城ふ頭、JR博物館南の岸壁より下船、徒歩にて、「ポートメッセなごや」まで避難しました。

なお、避難時間は約35分で完了し、名古屋港に津波が到達する時間は約90分とされており、津波到達時間内に避難場所まで避難出来る事が確認出来ました。



工事安全大会を開催しました

中部地方整備局名古屋港湾事務所主催の工事安全大会には、名古屋港において国の工事を担当する7社、協力会社、講師、発注者を含め、110名が参加しました。

国土交通省港湾局の直轄港湾工事において、今年3月、沖の鳥島にて重大事故が発生した事、平成24年から増加に転じた建設業における投資額が引き続き増加基調の一方、技能労働者や現場管理者の不足等によって、労働災害が増加する傾向にある状況にあります。

こうした状況を踏まえ、工事現場に実際に働く作業員も参加して、工事安全大会を開催したものです。

大会は技術者が自己研鑽の活動を通じて、安全・安心な国民生活を支える良質な社会インフラを整備・管理するための技術力と資質の向上を図る為、(一社)全国土木施工管理技士会連合会の承認も受け、「継続学習制度」(CPDS)の学習プログラムの一環として開催しました。

大会では、愛知労働局・津島労働基準監督署安全衛生課の棚橋課長より、津島労働基準監督署管内における建設業も含む労働災害発生状況と災害事例などに関する講演をいただきました。

その後、中部地方整備局港湾空港部港湾空港整備・補償課の老平課長から、管内で発生した港湾工事関係の事故事例を踏まえた事故防止のポイントに関する講話がありました。

更に、同道路部交通対策課の清水課長補佐より、大型車の道路に与える影響を踏まえ、道路の老朽化対策に向けた大型車両の通行の適正化の取り組みに関する講話がありました。

最後に、工事を担当する7社より自社の「安全標語(スローガン)」の紹介と無事故・無災害に向けた具体的な安全対策の取り組み等の発表があり、作業員代表の(株)小島組・野村さんが『26年度最後まで0災害でがんばろう』の唱和を行い、全員の「おおー」のかけ声で、工事事故撲滅・安全意識向上を参加者全員で確認し合いました。



**私たちは、無事故・無災害
を目指しています！**

平成26年度工事 安全スローガン

名古屋港湾事務所

名古屋港金城ふ頭(-10m)改良工事
東亜建設工業(株)

『全員が本気で築く安全文化』

名古屋港外港地区防波堤(堤頭部)改良工事
五洋建設(株)

『基本ルールの徹底と確認の履行 ヨシ!』

名古屋港外港地区防波堤(鍋田堤)嵩上工事
高砂建設(株)

『あせらずに 心にゆとり 安全第一』

名古屋港外港地区防波堤(中央堤)嵩上工事
東亜建設工業(株)

『安全をすべてに優先させる』

名古屋港外港地区防波堤(知多堤)嵩上工事
あおみ建設(株)

『心の隙間に近づく危険 「上手くするより確実に！早くするより安全に！」』

名古屋港外港地区防波堤根固工事
宇佐美工業(株)

『慣れた作業も油断せず 初心にかえり安全作業!』

名古屋港東航路(-16m)浚渫土排送工事(その3)
不動テトラ(株)

『安全最優先』